

北斎かわらばん

北斎館(仮称)ニュース

第4号

平成21年(2009年)3月発行



世界最高品質の作品

ピーター・モース・

コレクションの粹―

「富嶽三十六景 武州玉川」

北斎生涯の傑作「富嶽三十六景」シリーズ中の一図で、現在の東京都西部を流れる多摩川を描いたものです。さざなみだつ川面に一艘の舟が浮かび、たなびく霧の向こうに霊峰富士の姿を望む情景は、昔の多摩川周辺の美しい自然を想起させてくれます。

本区が所蔵するピーター・モース・コレクションには、「富嶽三十六景」シリーズ四六枚のうち六枚が含まれています。いずれも良質な状態ですが、中でも本図は初摺かそれに極めて近い時期のものと考えられています。

初摺とは最初に摺られた版のことで、版元と絵師の立会いのもとで摺られるため、当初意図した仕上がり

に最も近いものとされます。また、後摺では省略されることの多い手の込んだ技法も見られます。

実際、この作品でも初摺ならではといえる特徴を確

認できます。下の拡大図をご覧ください。多摩川の川面の波が、「空摺」という技法で摺られています。これは色を着けずに凹凸だけで表す技法で、現存する大

認できます。下の拡大図をご覧ください。多摩川の川面の波が、「空摺」という技法で摺られています。これは色を着けずに凹凸だけで表す技法で、現存する大



「富嶽三十六景 武州玉川」～ピーター・モース・コレクションより～

半の同構図の作品には見られません。

なお、本作品は一九九一年にイギリスのロイヤル・アカデミー・オブ・アーツで開催された、世界中で最良の摺りの北斎版画が出品された展覧会で、図録の表紙を飾る作品に選ばれたことでも知られています。



拡大図

【発行】
墨田区区民活動推進部
文化振興課
北斎館建設準備担当
☎ 03-5608-6115

【編集協力】
財 墨田区文化振興財団
北斎担当

ふれあい活カ伊

すみだ

北斎館（仮称）の 情報提供及び普及事業

墨田区が開設を計画している北斎館（仮称）では、北斎に関する情報を収集し、整理・分類のうえ、調査研究した成果を、一般利用者の方々にもわかりやすい情報として提供していきます。

館内の図書室では、北斎や浮世絵に関する書籍等の収集や保存・公開を行います。資料についての相談に応じるレファレンスサービスも行い、利用者の方々にとって「北斎についての窓口」の役割を担う予定です。

その他、館独自のホームページを通じて、展示や資料について紹介したり、図書室の蔵書を検索できるようにするなど、積極的に情報を発信していきます。

また、北斎についての理解促進や、館の認知度向上を図るため、「北斎」や「江戸時代のすみだ」をキーワード

とした文化活動や学校教育支援事業を行っていきます。

館には、講習室を設置し、北斎や江戸文化に関する講座や、子供向けのワークショップを開催するなど、文

化・創造活動の機会を創出していくことにしています。

また、郷土の偉大な芸術家である北斎の作品のレプリカを学校に貸し出すなど、教育活動も支援していきます。



狂歌絵本『さむたらかすみ』～ピーター・モース・コレクションより～

「ピーター・モース・コレクション 北斎図録」 を発売します

本紙第2号でもご紹介した、故ピーター・モース氏は、ホノルル美術館副主任研究員などを歴任し、北斎作品の世界有数のコレクターとしても知られています。北斎館（仮称）の開設を目指す本区は、氏のコレクションを一九九三年に一括取得いたしました。その後、コレクション全体を墨田区登録有形文化財とし、特に本号で紹介した「武州玉川」や『さむたらかすみ』をはじめとする優れた六件の作品を、区指定有形文化財に指定しています。

このたび、このコレクションの中心をなす、

北斎の作品の図録を発売します。錦絵版画三百点、摺物一九一点、版本四八点の総計五三九点を全点カラーで掲載し、モース氏の論文、作品解説や詳細なデータを付しました。この機会にぜひご覧ください。

【本図録に関する問合せ】

（財）墨田区文化振興財団北斎担当

☎03-3829-4122

